

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年6月18日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年6月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備(B)排ガス分析装置サンプルガス流量計の指示不良について】 協力企業作業員が、焼却炉建屋の制御室にて、雑固体廃棄物焼却設備(B)排ガス分析装置サンプルガス流量計の指示がふらついていることを確認。 調査の結果、排ガス分析装置の排ガスサンプリング配管に水が溜まったことによる指示不良と推定。 排ガスの分析が出来ないことから、雑固体廃棄物焼却設備(B)を停止。 排ガスサンプリング配管の水抜きを実施後、排ガス分析装置の排ガスサンプルガス流量計の指示が復帰したことから、雑固体廃棄物焼却設備(B)の運転を再開。 今後、運転中に排ガス分析装置排ガスサンプリング配管の水抜きが可能となるように改造する。 なお、排ガス分析装置が改造されるまでは、焼却設備の運転前に排ガスサンプリング配管の水抜きを実施する。</p>	GⅢ	6月15日